



東公民館の用悪水路は危険 早急な対策を

杉山 道夫 (市政・社民クラブ)

議員 東公民館芝生の水路は危険であるため埋めたらどうか。

教育部長 地域の方々から水路の安全面、衛生面から、用悪水路を埋め立てて芝生広場を拡張していただきたい旨の要望があり、関係機関や関係



東公民館の用悪水路

相談環境が整っているため、市の納税相談の際に過払い金の仕組みを説明し、法律専門家等への相談を進め、解決までの一定期間徴収を猶予するなどの対応をしている。

CO₂吸収量販売で間伐等推進を

議員 環境省が森林などのCO₂吸収量を販売するオフセット・クレジット制度を始めたが、市でもこの制度活用で間伐等を進める考えはないか。

市長 青森県でもオフセット・クレジットの認証を取得し、県有林の間伐により吸収される二酸化炭素量の販売を開始するとのことであり、当局としても本制度を調査、研究しながら、まずは市有林の整備に活用できるように検討していきたい。

バリアフリー等のさらなる推進を

堰野端 展雄 (高志会)



議員 バリアフリー、ユニバーサルデザインの取り組み状況及び今後の方針について伺いたい。

建設部長 市ではハートビル法や県の福祉のまちづくり条例に基づき、新たな公共建築物では玄関スロープや車いす対応の道路及び多目的トイレの設置、道路の改良では段差のないフラットな歩道の整備により、ユニバーサルデザインの精神を踏

まえたバリアフリーなまちづくりを推進してきた。

ユニバーサルデザインが推奨される以前に整備された道路には、車椅子の通行等、バリアフリーに対応していない場所が多くあり、学校、病院など公共施設が集中する地域周辺や商業及び集客施設が多い区域など、緊急を要するものから順次改良していきたい。

医療連携の具体的な取り組みは

議員 中央病院の市内及び上十三地域での医療連携の取り組み状況について伺いたい。

病院事業管理者 現在の市内の連携は、紹介、逆紹介で連携する登録医制度と、当病院の医療機器をその診療所が使用できる医療機器協同利用が行われており、最近ではスムーズな連携が行えるようになっている。現在の開業医の登録状況は、医

科が三十九施設中二十八施設、歯科が二十九施設

中二十三施設が登録している。紹介率は六二・四%、逆紹介率は平均三九・七%。医療機器協同利用はまだ利用率が少ないというのが現状である。

上十三地域での連携は、上十三医療圏の公的病院と主に脳卒中の連携が進んでいる。今後は脳卒中だけではなく、がん並びにがんやそれ以外の終末期、また精神病の連携を行いたい。今後は、医療、介護、福祉の連携を十分に考えながら、密接に連携していきたい。

中二十三施設が登録している。紹介率は六二・四%、逆紹介率は平均三九・七%。医療機器協同利用はまだ利用率が少ないというのが現状である。



高高山パークゴルフ場管理センターのスロープ

*4 オフセット・クレジット制度：温室効果ガスの排出削減、吸収量をオフセット・クレジットとして認証、発行する制度。管理が必要な森林を多く所有する地方自治体等にとっては、このクレジットを売却することにより収益を上げることができる。